

戸別配布

もくせいにし

令和3年3月
秦野南が丘ウェルシー自治会会報

令和2年度活動を振り返って

会長

令和2年度は、コロナ禍で殆どの親睦事業や防災訓練も実施することができず、もどかしい1年でした。唯一実施できた芋堀大会では、例年より多くの方に楽しんでいただけました。年初に、重点施策として①防災、②高齢者ケア、③役員業務軽減を掲げました。防災に関しては、実効的な防災体制を整えるため、来年度から自主防災会に運営専門委員会を立ち上げようとしています。高齢者ケアとしては、南地区高齢者センターとの連携をはじめました。役員業務軽減としては、役員会開催通知等をメールで行いコピー・配布業務を削減しました。また、ウェルシーの住民同士の仲間づくりのため「みんなの伝言板」を始めましたので、ぜひご利用ください。自治会活動は、限定的ではありましたが、会員の皆さんにはご理解をいただけたこと、感謝しております。来年度は、いつもの楽しいイベントができることをお祈りしております。

米満



2020. 10. 18 芋掘り大会

副会長/会計監査

一年間、副会長として自治会活動に参加させて頂きました。主に防災関連の活動を行い、避難所運営委員として、市と連携し、災害時に南が丘小学校を避難所として機能させる準備をして参りました。ウェルシー住民の高齢化も進む中、防災活動の重要性を強く感じました。一年間、皆様のご協力に感謝致します。

古家

副会長

今回3度目の自治会役員を受け、自分自身もそうであるように居住者の年齢層が確実に高くなったことを実感しました。主に防犯防災部の方々と共に活動を行い、その中で防災対策は自分達自身の問題であることの自覚や高齢化に伴う防犯活動の必要性などを勉強させていただきました。今後も、できる範囲で自治会活動に関わりたいと思いますので、よろしくお祈りします。

今福

総務部

今期は新型コロナウイルス感染防止対策として、役員会は3密を避けるためにメールを利用した“書面審議”開催や電子決議システムを利用した評決、出席者を絞り込んだ縮小開催としたり様々な試みを行いました。このような不自由な状況の中でも、役員・会員の皆様にはご支援・ご協力頂き総務活動を進める事が出来ました。一年間有難うございました。

島崎、比企

財務部

本年度はコロナ感染拡大を懸念しつつ、全てが手探りの運営となりました。財務担当として、経費精算書等の改良や事務費の軽減喚起を行いました。年度内に2度も非常事態宣言が発令される中、会員の皆様のご理解と米満会長をはじめ尽力して頂いた役員各位に改めて御礼申し上げます。

石口、井ノ山

広報部

新型コロナで始まり、新型コロナで終わる1年間でした。昨年の春から感染者が増加し、当初は感染経路も不明確な状況でした。新型コロナの特徴としてプラスチック、金属、紙からの感染が否定出来ないことから、4月から回覧板の使用を停止し、自治会員への連絡、周知事項は管理組合の掲示板を利用することとしました。また、感染防止の観点から、殆どの行事が中止となり、広報の主要業務である写真記録は芋ほり大会だけになってしまいました。

そのような状況の中、新規に「ウェルシーみんなの伝言板」の運用を開始しました。これは、自治会員同士のコミュニケーションの向上の一助とした自由な投稿の場です。高齢化してきた自治会員が少しでも快適に過ごせるよう考えています。情報交換等としても多くの方のご利用をお願いします。

今回の会報と昨年6月に発行した会報は、掲載する写真が少なく、コロナ禍での不自由な活動であったことが透けて見えますが、定例の発行を実施しました。

ご不便な1年間でありましたが、ご協力ありがとうございました。

大澤、林

保健衛生部

何も、会員様の為に出来なかった。との感想です。申し訳ありません。コロナに便乗して、活動をさぼったと言われても、否定出来ません。私以外の方が担当されていたら もっと上手く出来たかと思うこの頃です。

バイト先でPCR検査の後、濃厚接触者 売り場の消毒に立ち合いしました。PCR検査はもう2度とやりたくない。それが、バイト先の実情でした。せめて、コロナの被害者が出なかった事を喜びたいです。

鈴木、山崎

文化体育部

今年度の文化体育部が関与できた行事は、芋ほり大会だけでした。芋ほり大会は、久しぶりの自治会行事でしたが、会場では笑い声が絶えず、会員様からは久しぶりの談笑を喜ぶ声が多く聞くこともできました。このような住民同士のふれあいが、住みよい地域社会を創ることのために必要であることを痛感しました。

皆様、これからも自治会の行事には積極的に参加し、地域社会を盛り上げていきましょう。1年間、ありがとうございました。

八嶋、太田、阿部、小野

厚生部

コロナ禍の中でしたが、自治会員の皆様には赤十字募金・社会福祉協議会会員募集・赤い羽根募金等にご協力いただき、ありがとうございました。皆様のお陰で、コロナ禍で厳しい状況にある医療関係や社会福祉の活動に多額の寄付をすることができました。また、敬老行事として、南地区からはお祝いの集會に代わり記念品、自治会からは紅白饅頭を配布しました。多くの方にご希望いただき、ありがとうございました。昨年度に引き続き今年度も車椅子を1台追加購入しました。計2台の車椅子は集會所に置き、管理はウェルシークラブにお願いしております。多くの皆様に活用いただければと思います。

さらに、今年度は「高齢者ケア」の第一歩として、民生児童委員さんやウェルシークラブの皆様とも連携し、「地域ケア会議」（南地域高齢者ケアセンター主催）を開催することができました。今後も継続し、地域の高齢者の様々なニーズや課題解決に繋がっていくと良いなと思っています。

一年間のご支援・ご協力、ありがとうございました。

谷井、小沢

防犯防災部

会員参加の行事を極端に縮小せざるを得ず残念でしたが、自主防災会については、実際行動のマニュアルを複数提案できました。今後の活動の一助となれば幸いです。今後の防犯・防災は、居住者の皆様が自助の向上のために、周りに“「助けて」”の声を出しやすい雰囲気作り”をお願いします。

工藤、竹内、森田、中村

ウェルシークラブ

令和2年度開始時から新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態宣言で、活動停止を余儀なくされました。緊急事態宣言解除後も3密回避のため、ウェルシークラブも各種行事の中止、例会やお茶会、マーじゃん会などの集まりも止めたり、縮小しました。毎月の例会は短時間で弁当持ち帰りにて4回実施しました。ミカンの収穫を12月に実施して東北大震災の支援で15箱を送ることができました。自治会の皆様の支援、ご協力の賜です。ありがとうございました。

ウェルシークラブ会長 鈴木

